

五條市の概要

平成15年4月1日設置の合併協議会を経て、五條市、旧西吉野村、旧大塔村の1市2村が平成17年9月25日に合併し人口38,605人、世帯数13,762世帯、面積291.98平方キロメートルの新生「五條市」が誕生しました。

新市は奈良県の南西部に位置し、北は御所市と大阪府、西は野迫川村と和歌山県、南及び東は吉野郡に隣接しています。

北部は金剛生駒紀泉国定公園、東部は吉野熊野国定公園に指定されており、四季折々の美しい姿を醸し出す山々、吉野川、熊野川等の清らかな自然環境を有しています。更に吉野と熊野を結ぶ「大峯奥駈道」を含む「紀伊山地の霊場と参詣道」は平成16年に世界遺産として登録されました。

消防本部においても新生「五條市」誕生に伴い、これまでの管轄であります五條市と旧西吉野村（現五條市西吉野町）に加え、旧大塔村（現五條市大塔町）を管轄する事になりました。それに伴い大塔町に救急隊1隊が常駐する大塔分署を開署し本年1月4日より業務を行っています。

なお、本統計は昨年9月25日の合併までは当消防本部の管轄でありました五條市と旧西吉野村に分けて記載していますが、合併以降については旧西吉野村、旧大塔村を含めて五條市として処理しています。